

～どんなことをしていくの？～  
その6 「子どもの健全育成を図る活動」

「子は宝」と言います。鬼無里地区に子どもが1人もいなかったら・・・「まめってえ鬼無里」さえ生まれてなかったのではないのでしょうか・・・。守りたいものがある、守りたいことがあるからこそ、わたし達は鬼無里地区の活性化を望み、立ち上がったのです。そして「子どもが笑顔で暮らせる」ために・・・わたし達はどのケースにおいても、関わりを持ち、お手伝いできたかな、と思っています！！



マタニティー・  
ベビー期

明るく楽しく子育てが出来るように・・・心も体も元気でいられるように・・・学べる場・集える場を提供。「子育てしやすい」なんて言われたら嬉しいな。



未就園児期

ベビー期と同様、学べる場・集える場の提供を支援。また、この時期になると子供同士での関わりも出てきますから、遊べる場も作れたら良いですね～。

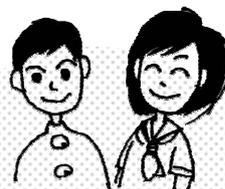
保育園児

現在行っている幼児の体育教室『ジム☆キッズ』を継続。



小学生

小学生とは直接学び合える場があったら良いですね。「環境」について、「ふるさと」について・・・。また『ジム☆キッズ』の小学生バージョンもやってみたいですね。



中学生

中学生とはWW村を通して更に深く学びあえたら良いですね。そこには私達が思いもよらない素敵なアイデアがありそうです。

11月23日の夜、第1回目の「交通について意見を出しあう会」を開催。高木朗義先生(岐阜大学)にコーディネーターをお願いし、「鬼無里の交通の良い所・悪い所」を考えるワークショップを行いました。いろいろな立場から見た意見が出されましたが、もっともつとより多くの方の意見を聞かなくては、鬼無里全体の意見とは言えません。「そんなこと言ったって、どうせ何も変わらない」と、あきらめていませんか？あきらめる前にぜひ、あなたの意見を聞かせてください!!困っていること、便利だと思っていることを教えてください。

あなたの未来のため、子どもたちの未来のために、いっしょに考えましょう!

平成22年12月15日

発行  
NPO法人  
まめってえ鬼無里  
住所 長野市鬼無里  
日影 4258-1  
電話 050-3736-6218  
FAX 020-4622-9939  
毎月1回ぐらい発行  
URL <http://www.kinasa.net>  
mail [mamettee@kinasa.net](mailto:mamettee@kinasa.net)  
まめってえ鬼無里

イベント案内(他団体主催)

- 12/12 第9回鬼無里市開催  
※調理実習<そば打ち>
- 1/2 鬼無里地区成人式
- 1/23 第10回鬼無里市開催  
※調理実習<寒干し大根づくり>  
※マークはそれぞれ申し込みが必要です。

まめってえ 12・1月のスケジュール

- 12/15 出張\*しめなわ飾り作り教室(西の門・ナノグラフィカ)
- 12/20 ヴェルフエンヴェング講演会@鬼無里中学校  
<大出副理事長が中学生にヴェルフエンヴェング村でのことなどを語ります>
- 1/19 水 19:00 から鬼無里活性化センターにて  
第2回「鬼無里の交通に関して意見を出しあう会」開催

鬼無里人の感性を愛していきたい。

「春は花夏ほととぎす秋は月、冬雪さえて冷しかりけり」

この道元の歌が「日本の美しさ」を表す。それは複雑な地形とそこに四季折々の生きものたちの表現であろう。四季の特徴が明確に区別ができるのは日本だけといわれる。また日本人には「山川草木悉皆成仏」という全ての生きものや自然には神仏が宿るとする仏教思想が引き継がれている。これは「自然と共に生きる」という共生であり、「生かされてる感謝」の表現でもある。

一方西欧人は歴史的にみて「自然は征服して資源を獲得する場所である。森林や山河など自然は利用するもの」との感性である。ここからは自然との共生はなく略奪が残った。西欧人と日本人の感性の異なりが独自の文化芸術、思想科学までも創造してきた。ここには根本的な自然に接する違いがある。

日本でもいま深刻なのは春期や夏期にそれぞれ趣があった「五月雨」や「梅雨」がこの頃は情緒無く「豪雨を集めて恐ろしい最上川」となり、集中豪雨が土砂混じりの河川となり災害が必ず起きる。これは地球の温暖化が一つの原因ともいわれ、二酸化炭素量の増大が問題となっているが、五十年後には一年中氷河期が熱帯気候になるのではないだろうか。今のうちに止めなければならぬ。

いま日本から失われつつある「日本の美」は「鬼無里」にはある。それは自然の美と人々の感性が失われていないと思うからである。今後奥裾花の美しさと

鬼無里の自然は美しい

理事 佐藤 肇